

# くまがや 市議会だより

Kumagaya City Council Newsletter

3月定例会  
平成20年5月1日発行

第11号

問い合わせ 熊谷市議会事務局 〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 ☎048-524-1111(内線412~416)  
E-mail gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp http://www.city.kumagaya.lg.jp/shigikai/



SLと桜 (第3回熊谷市観光写真コンクール入賞作品：撮影 柿沼あかね氏)

## 主な内容

今年も秩父路にパレオエクスプレスの汽笛が響いています。1988年に運行を開始したパレオエクスプレスは、今年で21周年。どんなイベントが企画されているか楽しみです。

- ☆ 3月定例会の概要・・・2
- ☆ 可決された主な議案・・・2
- ☆ 一般質問(要旨)・・・3～7
- ☆ 関係機関に意見書を提出・・・7
- ☆ 委員会での主な質疑・・・8

議会を傍聴しましょう。次の定例会は6月4日からの予定です。

熊谷市議会は「チーム・マイナス6%」に登録し温暖化防止に取り組んでいます。





# 3月 定例会



## 平成20年度一般会計・特別会計・企業会計予算 熊谷市子ども医療費の助成に関する条例の 一部を改正する条例などを可決

三月市議会定例会は、二月二十七日から三月十七日までの二十日間を会期として開かれました。  
この議会では、平成二十年度一般会計・特別会計・企業会計予算のほか、「熊谷市減債基金条例」「熊谷市後期高齢者医療に関する条例」など市長提出議案五十一件を審査し、四十九件を原案可決、二件の人事案件に同意しました。また議員提出議案の「道路特定財源の確保に関する意見書」を原案可決しました。

### 三月定例会の概要

初日（二月二十七日）の本会議では、市長から「平成二十年度は、総合振興計画の初年度となる。今後の十年間を見据えた本計画を、市政運営の戦略指針として位置付け、掲げた諸施策の具体的実現を図っていく。」

今年度の当初予算は、総合振興計画の着実な推進を前提に、計画と予算の一体性を図ること、また、限られた財源の中で最大限の効果をあげるために、真に必要なニーズに基づく施策に重点配分することにより、メリハリのある予算とすることを方針として編成した。  
また、予算編成に当たっては、財政状況の現状については、歳入面では、近年の景気回復傾向や税源移譲等の影響もあり、

今年度は積極予算としたところである。」旨の施政方針が述べられました。  
三月三日の本会議では、条例案や予算案に対する質疑が行われました。そして各議案は、所管の常任委員会に付託されました。  
四日には、総務文教常任委員会及び福祉環境常任委員会において、また、五日には、市民産業常任委員会及び都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。  
十日、十一日、十二日の三日間は、二十人の議員による市政に関する一般質問を行いました。  
最終日（十七日）の本会議では、各委員長から案件審査の経過及び結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。また、二件の議員提出議案が提出され、「道路特定財源の確保に関する意見書」を原案どおり可決し、「道路特定財源の一般財源化を求め

根幹となる市税は堅調な伸びを示している。しかしながら、最近のサブプライムローン問題や燃料費等の高騰が経済や市民生活に及ぼす影響、さらに国の道路特定財源の動向など、先行き不透明な不安定要素も懸念され、これらを考慮すると軽々に楽観視すべきではないものと考えている。歳出面では、行政改革の推進や適切な事業選別、予算執行における創意工夫に基づく行政コスト軽減等の努力により、一定の抑制効果をあげることができたものと考えている。この結果、本市財政は健全性を高め、新たなスタートを切るに当たって必要となる体力を有するまでに至ったと考えている。このような状況を踏まえると、本市が攻めに転ずる機会が到来したととらえられることから、

を求め、市長提出議案の人事案件二件に同意し、三月定例会は閉会しました。

### 可決された主な議案

◇熊谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
合併後不均一であった国民健康保険税の税率等を改めるとともに、徴収の方法として新たに特別徴収を加えるものです。

◇熊谷市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  
子育て支援として、通院に係る医療費の助成対象を十五歳に達する日の属する年度の末日までにある者に拡大するものです。

◇熊谷市減債基金条例  
市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営を図るため設置するものです。

◇熊谷市後期高齢者医療に関する条例  
後期高齢者医療制度の創設に伴い、保険料の納期、徴収に関する事務等について定めるものです。

◇熊谷市監査委員の選任に同意  
櫻井 則彦氏

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意  
高橋 ふみ枝氏





# 市政、こまが知りたい!

## 一般質問 (要旨)

3月定例会では、次の20人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。

数多くの質問の中から、1人の議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の( )内は、主な所管課です。

### 農地法に基づく届出の即日交付について

三浦 和一 議員

#### 問

原則として届出の受理証明書を即日交付できないが、できないとすれば、どのような問題があるのか。

#### 答

現在、市街化区域における農地転用届出に対する受理通知書の交付については、国の通達、及び県が定めた農地等転用関係事務処理要領の標準事務処理期間の定めに従い処理を行っている。今後、農業委員会内部において事務手続きについて検討し、届出書が提出されたときは、速やかに内容を確認、検討、調査し、その届出が適法かどうかの審査を行い、現在一週間前後かかっているものを、より短期間で受理通知書が交付できるよう努力していきたい。(農業委員会事務局)

#### ○その他の質問項目

「道路特定財源について」ほか

### 安全で快適な「自転車の利用しやすいまちづくり」について

黒澤 三千夫 議員

#### 問

本市は自転車通行環境整備のモデル地区に指定されたが、①自転車に起因

する事故の減少対策②安全で快適な環境整備とネットワークづくりについて、それぞれ伺いたい。

#### 答

①熊谷警察署をはじめ交通安全関係団体などと連携し、小中学校、自治会長寿クラブなどを対象とした交通安全教室、年四回実施している交通安全運動、小学校や高齢者を対象とした自転車免許制度の取り組みなどを行っている。②指定エリア内のネットワーク形成のため、自転車利用の環境整備を予定している。モデル地区外の学校など施設へつなぐ自転車道の整備については、整備済の歩道と、モデル地区の利用状況を勘案し、本市の自転車道のネットワーキングや環境整備について検討していく。(安心安全課)

### 観光施策の今後の展開と映画ロケを活かした街づくりについて

大嶋 和浩 議員

#### 問

①観光事業における民間企業との連携及びイベント等の来訪者を市内観光に結びつける方策②映画ロケによる経済効果③フィルムコミッションの立ち上げについて、それぞれ伺いたい。

#### 答

①J.R.東日本の主催により、熊谷駅を起点として行われている「駅からハイクキング」に積極的な支援を行うなどの取り組みを行っている。また、全国高校総体等、全国から来訪者が見込まれるイベントの機会をとらえ情報発信し、観光振興につなげていきたい。②例として、本市でロケが行われた「歡喜の歌」では、関係者の消費等による直接経費で約四百七十万円と試算している。③映画のロケを生かしたまちづくりを推進するため、市が主体となって早期立ち上げに向けて準備を進めていきたい。(商業観光課)

#### ○その他の質問項目

「行財政改革について その2」ほか

### 温暖化対策について

加賀崎 千秋 議員

#### 問

①企業、市民に対するPRの状況②家庭ごみ等廃棄物の減量は温暖化対策に有効と考えるが、その取組状況③太陽光発電の普及啓発活動の状況④市民ぐるみで温暖化対策に取り組むため普及啓発活動をどのように進めて



江南北小の太陽光発電パネル

いくのか、それぞれ伺いたい。

#### 答

①六月の環境月間、十二月の地球温暖化防止月間には市報に特集記事を掲載し、くまがやエコライフフェアや、立正大学と連携した環境講座等を行ってきた。②ごみの分別の徹底、リサイクルフェアの実施、リサイクル活動推進奨励金、生ごみ処理容器の購入補助等によるごみの減量を推進している。③平成十九年度に、市内すべての小学校に太陽光発電照明灯を設置した。また市民への普及促進を目的とした補助制度も導入した。④二十年度に策定予定の熊谷市地球温暖化対策地域推進計画をもとに共に活動できる仕組みづくりを進めていきたい。

（環境政策課）  
○その他の質問項目  
「食の安心、安全、自給について」ほか

**ドクターヘリ  
救急搬送について**

新井 正 夫 議員

**問**

①出動要請の基準は②市内の病院から要請は可能か③市内で必要な離着陸場所の数④受け入れが、集中するようないか⑤ドクターヘリによる救急搬送訓練の計画はあるか⑥県外への搬送は可能か⑦搬送費用は、それぞれ伺いたい。

**答**

①救急隊員が、傷病者の生命に危険が切迫している、または重症患者で搬送に長時間を要すると判断したときとなっている。このほかの出動例として医師の緊急措置を必要とするとき、多数の傷病者が発生したときがある。②ドクターヘリではなく、県防災ヘリにより搬送することになる。③小中学校等のグラウンド四十八カ所、公園や駐車場等十カ所を県に報告した。④これまで出動要請が重なった事例はない。⑤現在計画はない。今後、防災訓練等に万全を期していきたい。⑥現時

点では県外搬送はできないとのことである。⑦傷病者搬送に伴う負担はかからないが、診療行為分の負担が生じる。（警防課）

○その他の質問項目  
「屋上緑化と壁面緑化について」

**窓口サービス  
向上について**

吉原 邦 陽 議員

**問**

①総合窓口によるワンストップサービスについて伺いたい。また、土日開庁について②実施の考えは③問題点は④職員に対する意識調査の実施は⑤職員団体との協議の進捗状況は、それぞれ伺いたい。

**答**

①配置場所の変更等も含め、総合窓口の機能が發揮できるように見直していく必要がある。②利用者数が通常の勤務日の五分の程度のため、庁舎の集約、取り扱った業務の拡大、開庁時間及び職員体制の見直しなど総合的に検討していく。③取り扱った業務が各種証明書類発行業務と市税の収納業務等に限定されていることや管理職員と非常勤嘱託職員の体制で実施していることなどである。④現在のところ実施していない。

⑤職員の勤務条件の変更を伴うため合意には至っていない。（行政改革推進室）  
○その他の質問項目  
「熊谷市総合振興計画について」



市民課の窓口

**東西幹線道路  
(仮称)について**

富岡 信 吾 議員

**問**

（仮称）東西幹線道路について①その位置付けや県との調整及び働きかけは②この道路が整備された場合、市へ移管されると考えられる県道熊谷小川秩父線の未整備区間の整備は③計上された予算について、それぞれ伺いたい。

**答**

①県職員と合同で設置した「熊谷市道路整備検討委員会」において、各拠点を結ぶ地域連携道路、県道

熊谷小川秩父線のバイパス、高速道路への広域連携道路などの位置付けを整理し、県と市の連携による整備などの提案を受けた。同委員会の検討結果を踏まえ、本年一月に本市の新たな道路整備として、県へ要望した。②（仮称）東西幹線道路の計画を併せて、県と調整していく。③十九年度に引き続き、事業化に向けて、測量及び道路設計のための調査費を計上した。（都市計画課）

**熊谷市行政改革について**

○その他の質問項目  
「里山の保全について」ほか

新井 宏 議員

**問**

各出張所は設置後、五十年以上経過しているが、①廃止も含め見直しの時期とと思うが、どのように考えているか②出張所一カ所当たりの維持管理経費は③出張所の廃止により削減できる経費で、住民票等の交付手数料が減額できないか、それぞれ伺いたい。

**答**

①熊谷市集中改革プラン（改定版）では、平成二十一年度末までの目標として、施設の統廃合や転用な

どを含め、精査することとしている。見直しを進めていく中で、本庁舎や各行政センターとの位置関係等を踏まえ、統廃合を図っていく。②平成十八年度決算では、一出張所当たり、人件費を含め、約千百万円である。③市全体の財源を確保する観点から、受益者負担の原則に基づき対応していく。（行政改革推進室）

**後期高齢者  
医療制度の問題**

林 真佐子 議員

**問**

今年四月から、七十五歳以上の高齢者を別枠にした後期高齢者医療制度が始まる。高い保険料を徴収しながら、診療報酬を別立てにし、必要な医療が受けられない仕組みになっている。そこで、①後期高齢者医療制度の保険料は②保険料が支払えない場合の分納相談及びその窓口は③本制度は、中止・撤回しかないとと思うが、それぞれ伺いたい。

**答**

①所得割率が、七・九六％、均等割額が年額四万二千五百三十円となっている。なお、低所得世帯の方には、均等割額の軽減措置が



設けられている。②県広域連合と協議のうえ、被保険者の実情をうかがう中で本市として対応していく。③必要により、制度に対する意見、要望などを市長会等を通じ、国や県へ伝えていく。  
 ○その他の質問項目  
 「ひとり親家庭への支援の充実に向けて」ほか

**老朽化した学校施設の改善について**

**問**

多くの学校で老朽化が進んでいるが、①校舎、体育館及びプールの建替計画は②特に中条小の体育館等は取り組みが必要ではないか③衛生的ではおかないトイレにこの要望があるが、改善できないか④フェンスの修繕や設置のほか、階段や床の改修など学校からの建物修繕の要望にどう応えていくのか⑤校舎等補修費を増額できないか、それぞれ伺いたい。

**答**

①校舎については、地震補強事業を優先して実施し、体育館については、老朽化等の程度を考慮し改築等を進めていく。プールについては、校舎、体育館の耐震

化完了後に施設の状況等を勘案し、検討する。②校地拡張等を踏まえ、取り組んでいく。③定期的な清掃を心がけ衛生的な環境整備に努める。④施設の利用状況、危険性などを考慮し、対応していく。⑤限られた財源の中で効率の良い予算執行に努めていく。  
 ○その他の質問項目  
 「子どもの受動喫煙調査結果について」ほか

**公の施設の使用料について**

**問**

公共施設の貸し出しはほとんどの所で午前・午後・夜間に区切られている。時間単位では高い使用料となるため、統一すべきではないか。

**答**

公の施設のうち、その使用料金の設定単位が大里コミュニティセンターと大里ふれあいセンターの二施設である。他の施設はすべて午前・午後・夜間となっている。二施設については、他のコミュニティ施設とも使用料金の設定単位が異なっていることから、速やかに統一を図っていききたい。

(行政改革推進室)  
 ○その他の質問項目  
 「人の動きに合わせた公共交通通を」ほか



**原油高騰に対する緊急対策を**

**問**

原油高騰が市民生活を直撃している。自治体の仕事は市民の生活を守り、向上させるためにあることから、原油高騰により経営に打撃を受けることとなる。そこで、①農業、中小企業に対して支援策が必要ではないか②所得の少ない市民に対する支援策について、それぞれ伺いたい。

**答**

①県では、施設園芸の暖房用燃料購入費や畜産の飼料購入費についても、

農業近代化資金制度の融資対象とし、低利の融資を利用できるように改正しており、本市からも貸付利率の1%の利子補給を予定している。中小企業者に対しては、市が直接実施している支援策として小口事業資金等の融資制度がある。  
 ②今後の原油価格の推移を見守りながら、国・県の支援策、及び他市の状況等を踏まえ検討していく。  
 (農業振興課)

**道路整備について**

**問**

道路敷地内の未登記の土地の整理について①全市的な未登記の状況②吉岡地区の九〇一七三号線、九〇二〇七号線、九〇四〇二号線の道路敷地内の未登記の土地の状況③九〇四〇二号線の整備のために、国営武蔵丘陵森林公園の敷地を通すことはできないか、それぞれ伺いたい。

**答**

①現在確認している筆数は、熊谷地区を中心に約千八百筆である。②それぞれの道路改良事業は、相続

**本市農業に独自性を仕上げ、「農業立市宣言」を**

**問**

農業振興地域整備計画策定事業について、本市農業の独自性確立のためにどのように生かすのか、またそのスケジュールは、それぞれ伺いたい。

**答**

合併により広域化した市域で展開されている農業の実態を踏まえ、国の農政の流れを注視しつつ、本市農業の独自性を生かした「農業振興地域整備計画」の策定を目的としている。また、スケジュールについては、二十年度に農家へのアンケート調査、JA等に対する流通状況等の調査・分析、さらに、ヒアリング調査を実施し、本市農業の総合的評価と、地域農業振興上の諸問題を明らかにしたいと考えている。二年目は、

この調査結果に基づき、各地域の農業振興施策を検討するとともに、農振農用地の見直しを行い、本市農業の将来像と農業振興方針を明らかにした計画を策定していく。  
(農業振興課)

○その他の質問項目

「財政状況をもっと市民に『見える化』を促進する力ギは何ですか」

地域子育て支援事業について

山田 忠之 議員

問

①地域子育て拠点施設の事業内容、及び今後の計画②市民活動支援センターを子育て支援の場として利用できるか③三歳未満で保育所を利用していない児童数、及び待機児童数④民生・児童委員が実施している子育てサロンへの支援について、それぞれ伺いたい。

答

①この施設は、子育て中に親子の交流の場として利用いただくほか、子育てに関する相談や情報の提供を行うものである。今後も地域のバランスを考慮しながら、民間活力と併せて計画的に整備していく。②同センターを

子育て支援活動の場として利用することは難しい。③本年三月現在で約三千六百人を見込んでおり、待機児童は二月現在で八人いる。④チラシ印刷やイベント開催に当たり、相談や助言を行っている。(こども課)

休日夜間診療について

加藤 恒男 議員

問

熊谷市休日夜間急患診療所の①年間利用者数及び市内外別、年齢構成別の利用状況②経営状況について、それぞれ伺いたい。

答

①平成十八年度は、休日三千八百九人、夜間四千二百八十人の受診があり、市内外の別では、市内六千九百六十八人、市外千二百一十一人で市外受診者は全体の約十四%である。年齢別では、小児・内科では、就学前の乳幼児四千五百九十人、小学生千二百三十人、中学生以上二千五百五十人、小児科受診者の約七十四%を小学生以下が占めている。②平成十八年度は、収入約六千九百万円、支出約五千九百万円となっているが、併設の母子健康センターとの共通経費分を考慮すると、支出が上

回る状況である。(健康づくり課)  
○その他の質問項目  
「ごみ有料化をどう考えるか」  
ほか



休日夜間急患診療所

公用車等の貸出制度について

吉田 勝彦 議員

問

清掃活動やボランティア活動等の市民活動を推進するため、休日等で使用していない公用車を市民に貸し出すことができないか。

答

現在、市の公用車が加入している共済保険は使用目的が公務上の使用に限定され、運転者は職員を前提としている。そこで、公用車を貸し出す場合には、保険が市民にも適用される民間の損

害保険に加入することが必要となる。しかし、共済保険に比べて三、四倍程度の保険料が必要となることから、費用対効果の面において、また、貸出中の事故等で返却が遅れた場合、翌日の公務使用に支障が出ることも考えられるため、その対応等について検討していきたい。  
(庶務課)

○その他の質問項目

「障害者福祉について」ほか

合併効果と今後の課題について

松浦 紀一 議員

問

新市となり一年が経過した。合併により①期待された事項②懸念された事項について、それぞれ現状の評価と今後の課題を伺いたい。

答

①二十万都市の実現による存在感の高まりや、特別市への道筋が示されたこと、また、地域資源を市民で共有し、将来に向け大きな可能性を持つてたと考えている。さらに、行財政体質の強化が図られ、十年間で百四十三億円の削減効果や、地方交付税の算定特例等、国から約四十億円の財政支援があり、市民サービス

の声が行政に届きにくくなるなどの懸念があったが、ハートフルミーティングの実施、地域審議会の設置等により、広く市民皆様の声を聞くよう心がけている。また、行政サービスの水準維持に関しては、負担の公平や一体性確保の原則を踏まえて進めている。  
(企画課)

○その他の質問項目

「中心市街地活性化及びテクノグリーンセンター予定地用地活用について」ほか

環境行政について(カーボンオフセットについて)

谷 幸代 議員

問

日々の生活から排出される二酸化炭素量を、森林保全事業等への投資、寄付により相殺する「カーボンオフセット」推進事業について、国の予算を利用できないか。

答

国は、平成二十年度にこの事業を推進するため、公募によりモデル事業等を選定し、イベント等の開催に伴う排出量の算定やオフセット手法等について情報を収集す



ることとしている。市としては、イベント等を行う事業主体との調整や協力、受け入れた場合の資金管理や人的体制等、システムづくりの検討が必要となる。国の指針の趣旨を精査し取り組みを検討するとともに、環境基本計画の中での取り組みの検討について盛り込んでいきたい。

(環境政策課)

○その他の質問項目

「公共施設のトイレの改善について」ほか

熊谷運動公園について

田島道夫 議員

問

①名称も用途も似かよっている「熊谷スポーツ文化公園」との混同を避けるため、名称変更、愛称設定

等ができないか②同公園内の桜の種類と本数は③観光資源としての桜を生かした同公園の整備は、それぞれ伺いたい。

答

①「熊谷運動公園」は、都市公園の施設名称で

あり、変更を行うことが困難であるため、わかりやすく親しまれる愛称の募集について検討したい。②現在、六百七十七本あり、内訳はソメイヨシノ四百九十七本、熊谷桜七



熊谷運動公園

十八本、八重桜六十五本、しだれ桜十本、河津桜二十六本、大島桜一本となっている。③今後も引き続き、さくらのまち熊谷として、桜堤とともに桜の名所として親しまれるように取り組んでいく。

(熊谷運動公園施設管理事務所)

○その他の質問項目

「児童・生徒の携帯電話のフイルタリングについて」ほか



みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス6%

「チーム・マイナス6%」では、温室効果ガス削減のためのアクションプランを設定しています。

○自動車の使い方で減らそう！ 停車中はエンジンオフ。

関係機関に意見書を提出

三月定例会では、次の内容の意見書を議員提出議案として上程し、原案どおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に提出されました。

道路特定財源の確保に関する意見書

道路は国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、地域の活性化と安全で安心できるまちづくりの実現には、計画的に整備・維持することが重要であり、その整備に対する住民要望も強い。

本市においても、合併団体という事情により、都市基盤の骨格となり、活力ある地域経済を支える広域連携道路の整備促進及び地域の均衡ある発展と暮らしを支える生活道路の整備等、計画的な道路整備の推進が強く求められている。

こうした中、国では、道路特定財源の使途、暫定税率の存続等が議論され、国民の関心が非常に高くなっている。

原油高騰の折、市民の家計への影響を考慮すれば、安価にガソリン等を購入したいという国民感情は十分に理解できるし、その願いは大きく尊重されるべきものである。

しかしながら、本市では、平成二十年度予算の歳入に道路特定財源からの譲与税及び地方道路整備臨時交付金等が見込まれており、これが廃止・縮小されると、平成十九年度ベースでは、およそ七億三千万円規模の歳入不足となる。その影響は甚大で、本市議会としては到底容認できるものではない。

よって、現行暫定税率の適用期限が二週間後に迫る今、国において次の事項について格段の取組みを要望する。

記

一 当面の間、現行の暫定税率を適用すること。

二 道路特定財源・暫定税率に係る諸問題につき、十分に議論を尽くし、国民的理解を得られる法体系を平成二十年度内を目途として確立すること。

三 法体系整備にあたっては、いかなる場合においても、地方自治体の財源を現行水準で確保すること。

### 委員会での主な質疑

#### 総務文教常任委員会

平成二十年度一般会計予算

(総務費) について

**問** 『あついで・アピール・あついで！熊谷事業』

について、平成二十年度の事業内容を、伺いたい。

**答** 今年度までは、報奨金という形で団体に支援

してきたが、これらの実績を踏まえ、来年度からは形を変え、活動する皆様のPRを主に行っていくための印刷費と『あついで！熊谷』にちなんださまざまなグッズの作成を中心とした消耗品費を計上し、今後、本事業のPRを図っていきたくと考えている。

(所管課・企画課)

本庁舎 二二五

#### 福祉環境常任委員会

平成二十年度一般会計予算

(衛生費) について

**問** ごみ減量対策事業においてエコバックの普及

にかかる今後の取組状況、作成費用及び枚数について伺いたい。

**答** エコバックの今後の取組状況については、総合振興計画の中に、ごみの発生を抑制し、再利用を推進する

という単位施策がある。それに基づき、レジ袋の削減を図るため、平成二十年度から新たな事業として実施することを考えている。単価は一枚五百円程度で、二千枚計画している。

(所管課・廃棄物対策課)

江南庁舎 五三六一―五二二

二二六

#### 市民産業常任委員会

熊谷市後期高齢者医療に

関する条例について

**問** 保険料は、基本的に年金からの特別徴収、い

わゆる天引きとのことだが、年金額が年十八万円に満たない場合の納付方法となる普通徴収に該当する方はどのくら

いいるのか。また、保険料の減免について、それぞれ伺いたい。

**答** 本年四月からスタートする後期高齢者医療制度の対象者として約一万九千五百人を見込んでいますが、そのうち普通徴収の方は、七千人程度と見込まれる。また、減免については、保険料を賦課決定する埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例に規定されている。

(所管課・保険年金課)

本庁舎 二七八

#### 都市建設常任委員会

平成二十年度一般会計予算

(土木費) について

**問** 和田吉野川橋りょう等整備負担事業の内容、及び総工費について伺いたい。

**答** 事業内容としては、水路改修に伴って、現在ある橋を架け替えるに当たり、その工事にあわせて接続する道路の拡幅なども行うものである。例えば、既存の橋が四メートルで、それを五メートルに拡幅する場合であれば、既存の四メートル分は河川改修で負担するが、一メートル



改修中の和田吉野川

拡がる部分については道路管理者が負担するという原則になっている。それらを合わせ、本事業の総事業費は八億一千万円で、うち本市負担分は二億六千七百万円である。

(所管課・管理課)

本庁舎 三二四



#### 議員の辞職について

吉田勝彦議員においては、一身上の都合により三月三十一日付けで辞職しました。

#### 編集だより

ここに、市議会だより第十号をお届けいたします。本号では、一般質問の要旨をはじめとする三月定例会の概要等を紹介しました。

これからも市民の皆さんと市議会を結ぶ紙面づくりを目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら、ご意見等をお寄せください。

#### 議会報編集委員

- ◎松本 富男 ○磯崎 修
  - 加賀崎千秋 笠原 秀雄
  - 山田 忠之 林 真佐子
  - 並木 正一 三浦 和一
  - 加藤 恒男
- (◎委員長 ○副委員長)

#### 会議録の閲覧について

市議会では、本会議の様態を記録した会議録を作成しています。3月定例会の会議録は、議会事務局、市役所情報公開コーナー、行政センター、図書館、市議会ホームページなどで6月上旬から閲覧できます。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

再生紙を使用しています。



©熊谷市

平成二十年五月一日発行

くまがや市議会だより

第十二号



編集と発行 熊谷市議会